

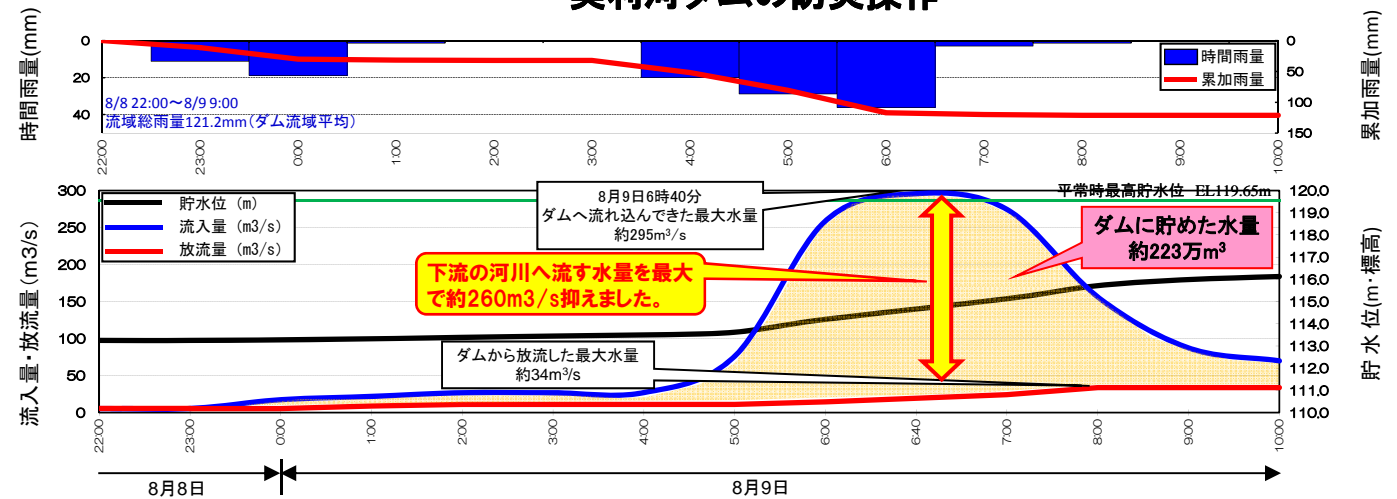
美利河ダムの防災操作と効果 (平成25年8月9日) ～後志利別川の水位を約1.8m低下～

- 平成25年8月8日からの降雨により、後志利別川水系美利河ダム上流域では流域平均総雨量約121mm(9日9時現在)を観測し、美利河ダムへの最大流入量は約295m³/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、美利河ダムでは約223万m³(札幌ドーム約1.5個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で約260m³/s(約9割)低減させました。
- この結果、ダム下流の今金水位観測所地点(今金町今金橋付近)では、水位を約1.8m低下させ、水防団が出動できるよう待機をする「水防団待機水位」を超える水位上昇を抑制したものと推定されます。

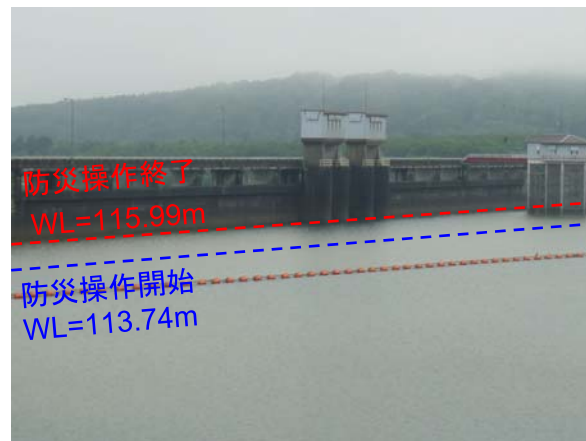
美利河ダム位置図



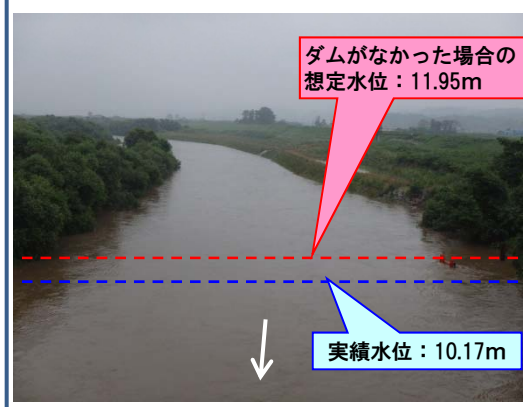
美利河ダムの防災操作



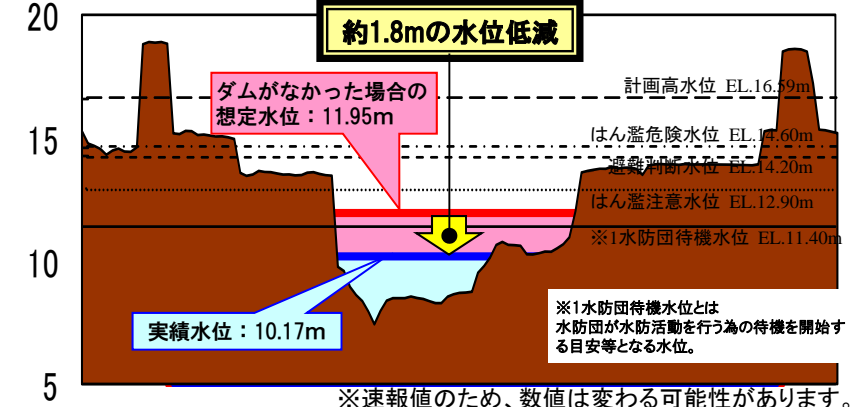
美利河ダム貯水状況



今金水位観測所付近



水位(m) 今金水位観測所地点における水位低減効果



※速報値のため、数値は変わる可能性があります。